

基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
------	---	-----------------------------------

1 基本目標の2021年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
【評価】 【課題】	
下平 委員	【評価】 ・妥当である。コロナ渦を意識した方向性である。 【課題】
橋爪 委員	【評価】 ・ねらいと取り巻く状況の認識は妥当であると評価します。 【課題】
市瀬 委員	【評価】 ・概ね妥当と考えます。 【課題】 ・中心市街地における歩く人が中心の賑わいのある街づくりは、今後どの程度まで発展させられるのか。(2-②への記載が妥当?)
清水(優) 副委員長	【評価】 ・妥当 【課題】 ・特になし
竹村 委員長	【評価】 ・基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識は、概ね妥当と評価する。 【課題】 ・中心市街地の賑わいのある街づくりにむけて、新たな起点となる丘の上結いスクエアをいかにして若者世代の核として活かしていくかが今後の課題と考える。 ・まちなか回遊による賑わいのある街づくりを進めるために、世代別に受け入れられる「ストーリー性」を確立することが求められる。
清水(勇) 委員	【評価】 ・妥当 【課題】 ・コロナの影響の多い基本目標である
永井 委員	【評価】 ・将に概ね妥当 【課題】 ・「概ね妥当」と考えてしまうところ ・アフターコロナの状況を、今一見通せないところ

小平 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題】</p>
西森 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標の狙いと取り巻く状況の認識はおおむね妥当と評価する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にて、交流人口・関係人口の流入に支障があるので、興味を持っている人たちをどう繋ぎ留めておくかの検討が必要。
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当と認識する。 交流人口・関係人口の拡大への取組みは、日常的な中心市街地活性化とも繋がる大事な視点と評価する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナの視点で進める事が求められ、前向きな議論へどう導けるかが課題。
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果が少ない。
古川 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つながる人」「人の流れ」を進めるうえで別冊データ集のP2〈転入数と転出数〉の詳細な分析が必要と考える。女性の転出数の多さや年度によって多い少ない理由を分析することで目標の「つながる人」「人の流れ」が見えてくると主p割れる。
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「飯田だから実現できるライフスタイルイメージを明確にする」とあるが、具体的にどのようなイメージなのか、他市との比較はどうか。
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ではあるが、実際人々が訪れたいくなる集客の場を飯田市を作らなければならない。
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯田市への人の流れを作ることが最終目標と思うが、そうっていないことはどこに要因があるのか、をどう分析しているか見えない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全庁を挙げていろいろな取組みをしているが、それらを統合する総合政策部にどれだけの権限が与えられているのか、さらに市長の関与がどれだけあるのかが課題だと思う。

評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか 【評価】 【課題】	
下平 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当である。移住定住に関する取り組みはオンライン等に重点を置き一定の成果がみられる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活性化。
橋爪 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブランド力を高める活動や「結い」によるUターン・Iターン移住・定住の推進については一定の実績もあり評価します。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生の地域内就職率について更なる対策が必要。
市瀬 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料 Wifi の初期画面活用や民間ベースでの商品開発、オンラインの活用などコロナ禍で苦しい中でも取り組みは出来ていると評価します。 <p>【課題】</p>
清水（優） 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中で、懸命に取り組んだ。コロナ後に期待できる内容となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標2は飯田の総合力が求められる。地域全体の取り組みにしていく必要がある。
竹村 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標と戦略計画の連携が図られた取組内容となっており、また成果や目標達成に向けた課題認識、今後の展開方法が明確となっており、概ね妥当と判断する。 フリーWi-Fiのアクセスポイントで最初に表示される画面を「VisitIIDA.com」へ変更、感染対策を示したイベントマニュアルの作成、移住相談者に寄り添った丁寧な対応、Airbnbとの包括連携協定を始めとして、地道に取り組みを展開し実績を出していることは評価できる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「VisitIIDA.com」のコンテンツの更新（未だに2016年のお練りまつりの写真が使われている）を確実にやっていくことが求められる。
清水(勇) 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ過ではあったがそれなりの取り組み成果は評価できる <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ過でも取り組める内容の整理 コロナ過ではあったがKPIはそれなりに評価できる
永井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進捗状況確認指標を見ると、そんなに悪くない数字に見える <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西条市が取り組んできたように、ブランド力向上の前に、全ての飯田の強みを洗い出したか。全ての玉をすべて打ったか。再度検討してみる必要はないか

小平 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題】</p>
西森 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住、定住の取組みは一定の評価に値する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住者の要望等は千差万別にてきめ細かな対応が選ばれた地区を含め必要。
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の賑わいへの取組みは、飯田お練り祭りの開催などコロナ禍での制約がある中実施出来たことは、コロナ後へ繋がると評価したい。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の賑わいへの取組みは、若者の意見を積極的に取り入れることが大事であり、課題と認識する。
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代へのアピール戦略が無い。
古川 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題】</p>
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VisitIIDA.com サイトユーザーやツイッターフォロワー数が大きく増加しており「飯田市を知ってもらう」点では成果が上がっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方で、移住定住者の増加はあるものの、大幅に増加しているとはいえない。 <p>つなぐ事業の成果が出始める年度と思われるが、高校生等の地域内就職率はのびがない。つなぐ事業に期待してきたが、思うような成果に結びつかない状況について、しっかりと検証すべきである。</p>
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅があるその利点を活用できる市にしなければ他自治体間競争に取り残される。
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっていることは理解するが、改善傾向までは至っていないのでは。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの活動はどれも評価するが、それぞれの活動が改善傾向に至らないことの分析を、関係者と一緒に総括する仕組みが無いのではないか

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	2-①	飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妥当である。飯田水引のPRや「焼き肉のまち飯田」はブランド力を高める役割を果たしている。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いいだ型自然保育」の魅力発信。 	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を果たしている。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画による情報発信に取り組みたい。 	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信への取り組みは重要と考えるので、様々な情報発信方法の検討がなされ、実施された。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの課題にも挙がっている通り。「VisitIIDA.com」写真と少しのコメントしかない。普段から魅せられるものに。 	
清水 (優) 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妥当 ・取り組みにより“飯田焼肉”という共通言語が地域内外に形成されつつある。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家民泊と子育て環境は、飯田ブランド(強み)の一つと捉えており、当市のイメージ向上にも資すると考える。プロモーション活動の中でぜひ取り上げられたい。 	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田焼肉に関する活動の活発化、フリーWi-Fiのアクセスポイントで最初に表示される画面を「VisitIIDA.com」へ変更したことにより新規ユーザー数・ページビュー数が大幅に増加したこと、飯田型自然保育の情報発信など、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。 ・「VisitIIDA.com」の新規ユーザー数・ページビュー数が大幅に増加したことが、飯田への移住定住や地域経済活性化につながっているのか検証する必要がある。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。 ・「飯田焼肉」の特徴(飯田といえばマトン(ジンギス)、飯田といえば出前焼肉等、尖ったもの)をもっと打ち出し、他地域との明確な差別化を図れるかが課題である。 ・大学生ユーチューバーを始め若者が積極的にSNSを通じて飯田の魅力を発信している。市もこれらの若者と接点を持っていることから、上手に連携を図り動画による情報発信の幅をいかに広げることができるかが課題である。 	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過を思えば取り組み、成果は評価する <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過でもできる取り組み、コロナ過だから取り組むべき内容を検討し進める 	
永井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した発信事業は進んだと思われる <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西条市が取り組んでいる視点、「強みをどうやって誰に伝えるか」は明確になっているか 	

小平 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内10カ所のフリーWi-Fiに魅力発信サイト（VisitIIDA）導入 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯田市の魅力発信には、飯田市全体で発信が必要。公民館のWi-Fiも利用するなど自部門だけでなく大局的な視点で取り組んでもらいたい。
西森 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定の認知度の上昇については評価に値する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単発的な認知度から継続性の認知への戦略強化が必要
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題・方向性】</p>
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯田の魅力発信力は出来てきた。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間活力との協働・活用をもっとする。
古川 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「焼き肉のまち」もそうだが市民の力は重要だがここに、たよりっきりの行政に見える。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「焼肉」「水引」「南アルプス」原石は多くあるがどう発信していくか課題
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯田のブランド力向上につながる取り組みとして、飯田焼肉世界記録挑戦の取り組みは大きな発信力となった。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「焼き肉のまち」をブランドとして取り組むことは重要と考えるが、市街地の現状を見ると、昼間、夜間どこに行けば焼き肉が食べられるのかインフォメーションが不足している。また、焼き肉イベントなど実施するための、大規模な屋根付き広場なども必要と考える。
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間ができることは民間に委託。
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロモーションは出来ているが飯田のブランドのプロモーション委はなっていないと思われる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯田のブランド力を高めるとは何か、ブランド力は高いのか低いのかをどうとらえているかが見えないため、プロモーションに視点が行き過ぎている感がある。飯田という総合ブランドの視点も良いが、もっと一つ一つのブランドの価値を高める所に目を向けられたい。

年度戦略 (小戦略)	2-②	中心市街地の賑わいのある街づくり
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当である。全市的ではあるが空き店舗を活用した新規出店者の支援 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 丘の上結いスクエアの充実。 	
橋爪 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「丘の上結いスクエア」がオープンして今後の利用に期待します。役割は概ね役割を果たしている。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ終息後に向けた賑わいの演出に期待します。 	
市瀬 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染警戒レベルが高い時期も含め、イベント期間の延長など対策を取りながら今までの事業の継続が出来たことは良かった。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> . 	
清水 (優) 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当 賑わい創出にむけた民間企業の参入を歓迎する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 賑わいの観点も重要だが、持続可能な中心市街地にむけて、居住者の実態（実数、高齢化率、ニーズ等）はどうなっているか。調査されたい。 	
竹村 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても新しい事業の形の提案や日常的なまちの賑わいづくりへの可能性を見出す事業展開など、数字にこそ表れていないが基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。 デジタル技術の活用によるオンラインミーティングやバーチャルイベントの開催が、コロナ収束後に「本物を見に行きたい」という意欲を促し実際の来訪につながられる魅力があるのか、第三者（若者の視点を含む）の目で検証する必要がある。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。 「中心市街地の賑わい」「日常的なまちの賑わい」を創出するためには、外から丘の上に来てもらう視点も大切だが、「『歳を取れば丘の上（まち）に住みたい』と言われるまちづくり」「車に依存しない歩いて事足りるまちづくり」という居住に視点を向けることが必要ではないか。 	
清水(勇) 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ過の為役割を果たしたとは思えない <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題、方向性に取り上げた項目の具体化に取り組む 	
永井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、思うようなイベントが打てなかったと理解する <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高松丸亀町商店街振興組合の取り組みを視察した。飯田市でも取り組めることはないか 	

小平 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題・方向性】</p>
西森 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核となる「結いスクエア」ができ、丘の上の交流人口確保に向けた動き出しとしては一定の評価とする。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦にてイベントの仕掛け等が難しいと思うが、丘の上の魅力を発信することの強化が必要
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一の焼肉のまち飯田が発信でき、中心市街地の新たな魅力づくりが民間活力により出来た事を評価したい。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業、団体、若者など、さまざまな意見をどう日常的な賑わいへ反映出来るかが課題。現状の規制緩和など地域住民との課題共有が鍵と認識する。
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆいスクエアが開設された。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丘の上の住人だけでなく全市民の利用の促進
古川 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題・方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日常的なまちの賑わいの創出」とところどころにあるが「誰のための」「何のための」が見えてこない。障がいを持った方から「車いす」では飯田駅やリング並木などガタゴトで出歩けないと聞きます。若者がターゲットなのか。日常的な賑わいの創出とは今一度検討しては。
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「結いスクエア」が駅前に完成したことは成果といえる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後「結いスクエア」が、中心市街地の賑わいづくりにどれだけ貢献できるか、中央公園やリング並木、動物園を結ぶ誘客展開をどのように行っていくか？
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残念である。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手集客可能事業者を欠いてから激減状態。その事実を受け止めよう。ただ、イベント開催時は誘客はそこそこ可能。そこを伸ばそう。
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいとは程遠いのでは、進んでいない。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいから離れて、住んでいる人たちや飯田市の市民が歴史や文化を感じられるようなまちへと転換することも有るのでは。

年度戦略 (小戦略)	2-③	「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
下平 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当である。「移住コンシェルジュ」や協力者による移住相談。「ゆいだより」による情報発信。「やまざと親子留学」など良い取り組みである。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力ある「人」に協力していただく。
橋爪 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【成果】 役割を果たしている。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少により担い手不足の解消策が必要。
市瀬 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取り組みによって成果が上がってきている点はとても良いこと。役割としては前進している。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も情報発信をどのように活かしていくか
清水 (優) 副委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当 <p>これまで築いてきた“つながり”が成果として見えてきた。</p> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農村起業家育成スクール(中山間地域振興事業(No.17)基本目標9-③)との情報共有・協業は相乗効果を期待できる。連携して取り組まれない。(基本目標1-③にも記載) オール飯田市役所はもちろんのこと、市民・地域・企業・行政の全て「オール飯田市」で推進していく取り組みとされていかれない。予算提言を視野。
竹村 委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、キャリアガイダンスやインターンシップ支援事業の実施、コワーキング個室ブースの設置、移住相談者に寄り添った丁寧な対応、Airbnbとの包括連携協定を始めとして、基本目標の達成のために概ね役割を果たしている。 サテライトオフィスの誘致は始まったばかりで、どの様に進めていけば効果が出るのか模索中であると察するが、一足飛びで効果が出ることでもないことから、移住相談者への対応を参考に、希望する企業に寄り添った丁寧な対応に引き続き務められたい。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けた課題認識・方向性は妥当と判断する。 移住希望者のニーズは住居、周囲との人間関係、子育て・教育環境、福利厚生、雇用、老後、農地の有無を始めとして幅広いことから、引き続きしっかりと寄り添った丁寧な対応に引き続き務められたい。 フィールドスタディなどで飯田へ訪れて学んでいる大学生が、将来「飯田に住みたい」「飯田で働きたい」と思ってもらえるような飯田の魅力を発見する機会の創出が必要ではないか。
清水(勇) 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ過ではあったが取り組みは評価する <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果を検証し、コロナ過でも取り組める内容も多い、コロナ過でも取り組めるよう検討して進める
永井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規移住相談件数は、対前年度では増えている。成果かもしれない <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進捗状況確認指標「⑤新規大学等卒業者の地域内就職率」が25%に達しない点 西条市の事例で、移住者が定住を決めた時には既にある地域の人との人間関係ができていると。大事な点だと思う

小平 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題・方向性】</p>
西森 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の成果も認められ評価に値する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住者の要望等は千差万別にてきめ細かな対応が選ばれた地区を含め必要。
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <p>【課題・方向性】</p>
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ前進し、成果も出てきた。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して移住できる住宅の確保
古川 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、高校生が進学等のため一定量、飯田を離れるが、繋がる取り組みなど進めていることは評価。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標にも記載したが「つながる人」「人の流れ」を進めるうえで別冊データ集のP2（転入数と転出数）の詳細な分析が必要と考える。 (移住希望者のニーズ転出される方の気持ちなど) ・一旦出ていった子どもたちが帰ってきたくない理由の分析。 ・地域のお祭りや伝統文化継承のために「帰ってくる」という気持ちづくり必要。
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住コンシェルジュの設置により、移住相談や情報発信力が向上したように思える <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住コンシェルジュを拡大し移住者の増加に取り組まれない。 ・期待してきた「つなぐ事業」の成果が観られない。検証が必要。
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア組が多い。決して否定はしないが、30代が仕事を求め、そして家庭をこの地で張ることのできる都市づくりが欠如している。
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでいる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、いろいろな工夫や取り組みを精力的に進められたい。 ・移住に対するプレミア感をもっと出してもいいのではないかと。

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	
下平 委員	・概ね妥当である。「つなぐ」事業を中学生にも広げることはどうか。
橋爪 委員	・充分反映されている。
市瀬 委員	・情報の伝達先（ターゲット）の絞り込み、「つなぐ」事業の推進、個別化など現状への対応も織り込まれている。
清水（優） 副委員長	・移住定住につなげるには、地域全体の総合力が求められる。今後も引き続き民間の活動を支援し、地域の企業や事業者をも巻き込んだ取り組みの拡大が必要と考える。
竹村 委員長	・現状分析に基づく今後の方向性が2022年度戦略に反映されており、概ね妥当と判断する。
清水(勇) 委員	・考え方は妥当と思う、 ・コロナ過でもできること、コロナ過だからこそ取り組み方を考えることにより新しい進め方が生まれるのでは
永井 委員	・取り組み内容は、時代にマッチした、現実的な取り組みになってきた ・西条市は、「個別無料移住体験ツアー」が特筆すべき成果で、同じ担当者が付きっきりで案内するというが、飯田市の「お試し暮らし」はどうか

小平 委員	
西森 委員	・妥当
宮脇 委員	
筒井 委員	・移住者が新しい移住者を紹介してくれるまでには至っていない。
古川 委員	
熊谷 委員長	・「中心市街地の賑わいのある街づくり」について、イベント以外での人を引きつける魅力づくりが課題と認識しながら、具体的な取り組みが展開されていない。特に「結いスクエア」での取り組みは重要と考えるがどうか。
新井 委員	・コロナ禍、特に進んで事業中止の判断の速さはすごい。大都市圏からコロナ禍移住が思うほど進まなかった要因を今後活かすことができなければ、いくらリニア駅ができようとも飯田市に効果は薄い。
原 副委員長	・反映しているが取り組みが浅い、この点をさらに追及されたい。若者回帰に女性に対する対策を取り上げ取り組まれたい。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	
下平 委員	・概ね妥当であるが「中心市街地の活性化」に関する指標がもう少しほしい。たとえば「JR 飯田駅の利用者数」など
橋爪 委員	・むとすプラザの利用者や利用する内容についても今後評価指標に取り入れたらどうか。また交流人口等の指標も取り入れたらどうか。
市瀬 委員	・妥当 (プッチーの利用率)
清水 (優) 副委員長	・妥当
竹村 委員長	・進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当と判断する。 ・「IIDA2027」Twitter フォロワー数について、飯田市への人の流れをつくる目的に合致したフォロワー（南信州圏域外、特に移住希望者となりうる県外在住者）の割合を分析したうえで、今後のフォロワー登録戦略を検討する必要がある。
清水(勇) 委員	・KPI はコロナ過なので参考にするが、コロナ過だから増えた数値もある
永井 委員	・例えば「⑤新規大学等卒業者の地域内就職率」は、令和3年が19.83。目標が、25.00。この階差5.17は、この年は何人になるのか

小平 委員	
西森 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 ・ コロナ渦にて人流制限のある中、多くの人に来ていただいていることは評価に値する。
宮脇 委員	
筒井 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPI は進歩している。 ・ 高卒、大卒の地域内就職率が低すぎる、目標も低すぎる。
古川 委員	
熊谷 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の賑わいを観る指標として、「結いスクエア」の利用状況を見る必要がある。
新井 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね妥当
原 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の回帰状況を KPI として捉えられたい。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	